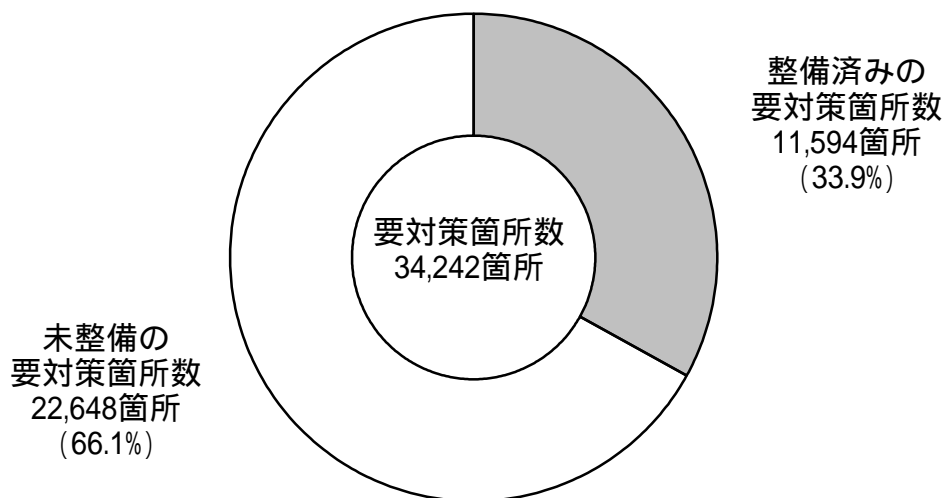


## 緊急輸送関連施設

### 緊急輸送道路の耐震化等の状況

・緊急輸送道路においては、耐震化等対策が必要な箇所のうち約66%が未整備。



	集計値(47都道府県)
緊急輸送道路の要対策箇所数	34,242 箇所
整備済みの要対策箇所数	11,594 箇所
緊急輸送道路要対策箇所整備率	33.9 %

平成14年3月現在における整備済みと整備中の施設の合計値

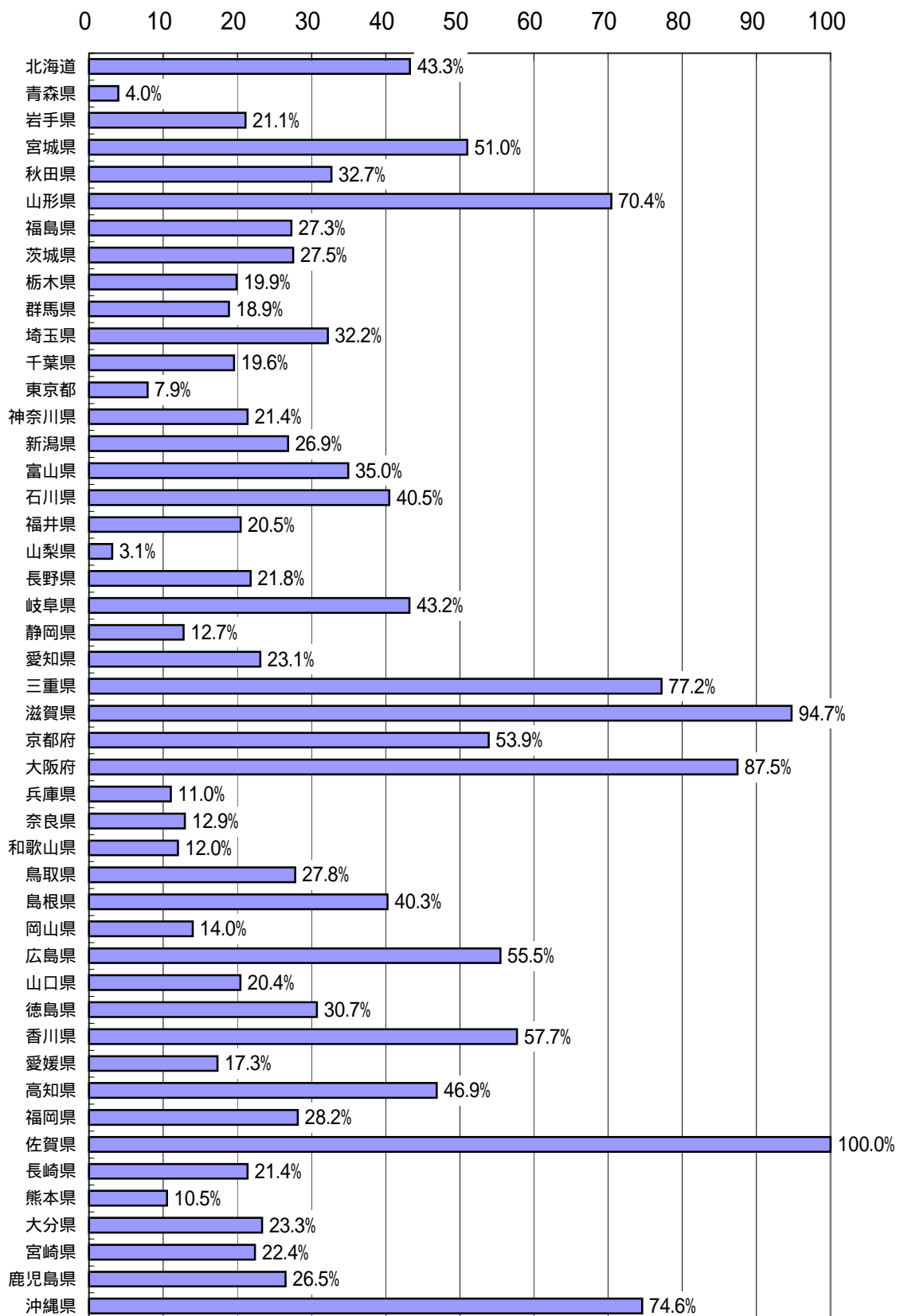
	要対策箇所数	整備済み箇所数	整備率
総計	34,242 箇所	11,594 箇所	33.9 %
内訳			
橋梁	23,628 箇所	10,459 箇所	44.3 %
盛土	2,146 箇所	298 箇所	13.9 %
擁壁	5,069 箇所	403 箇所	8.0 %
掘割道路	634 箇所	190 箇所	30.0 %
横断歩道橋	1,945 箇所	127 箇所	6.5 %
その他	820 箇所	117 箇所	14.3 %

#### 【定義】

緊急輸送路：地域防災計画において指定された緊急輸送路  
 緊急輸送路整備率：緊急輸送路における道路防災総点検(H8)による要対策箇所に  
 対する整備・改良済み箇所数の割合  
 要対策箇所：橋梁、横断歩道橋、共同溝、開削トンネル、掘割道路、盛土、  
 擁壁、ロックシェッド・スノーシェッド

(%)

# 都道府県別の緊急輸送道路要対策箇所整備率



## 緊急輸送交通管制施設の整備状況

・緊急輸送交通管制施設の整備率は、0.2箇所/km。

	集計値(47都道府県)
緊急輸送路の総延長	68,198.2 km
緊急輸送路に係る整備済みの 交通管制施設数	10,495 箇所
交通管制施設整備率	0.2 箇所/km

平成14年3月現在における整備済みと整備中の施設の合計値

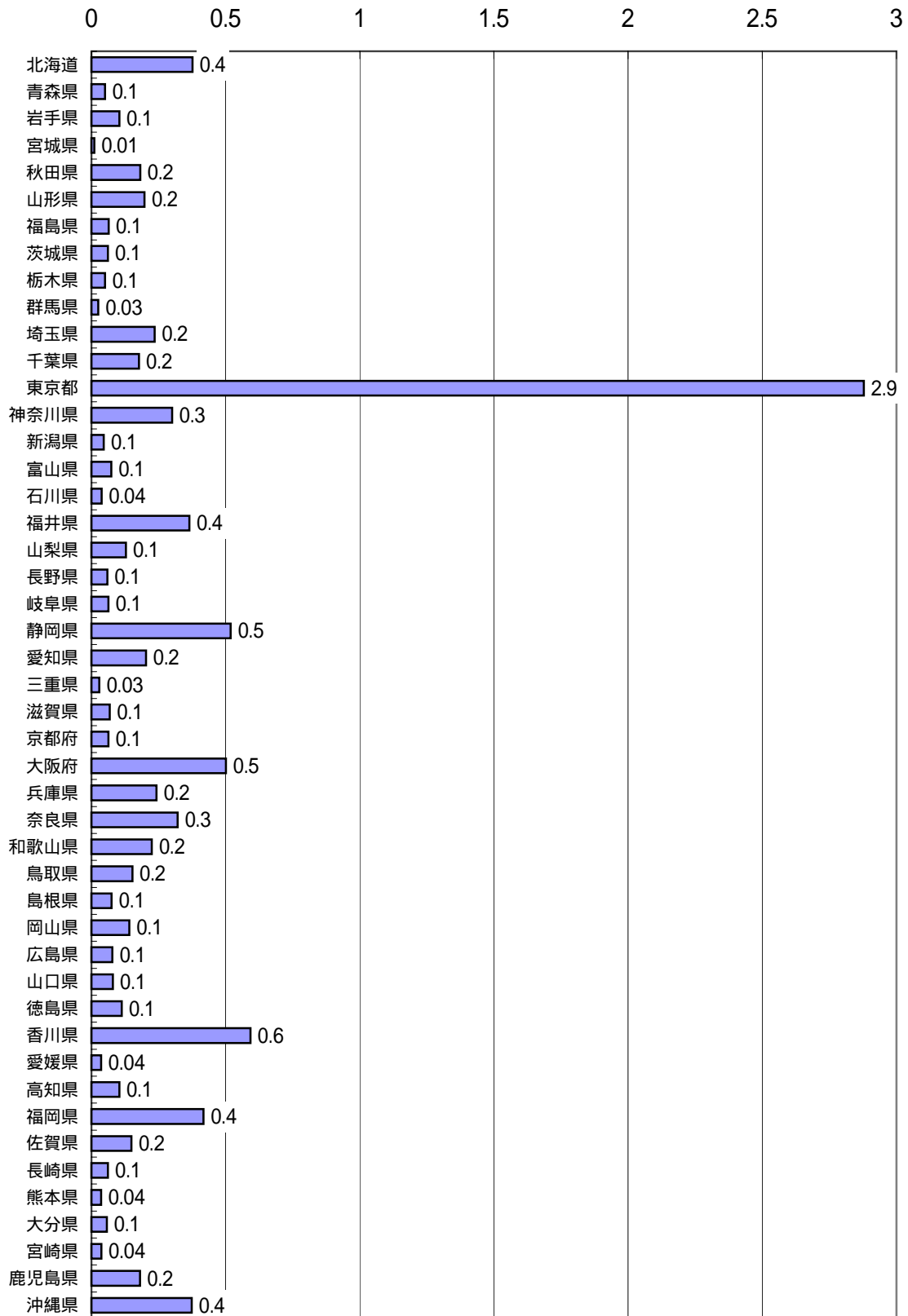
### 【 定 義 】

交通管制施設 : 緊急輸送路のうち道路法上の道路における交通管制施設  
( 交通情報板、監視テレビ、信号機用非常電源装置 )

交通管制施設整備率 : 緊急輸送路における交通管制施設の整備割合

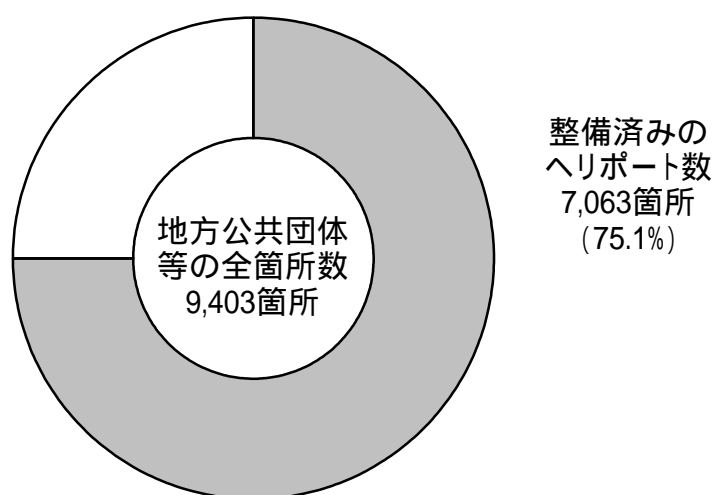
(箇所/km)

# 都道府県別の交通管制施設整備率



## 地方公共団体庁舎等におけるヘリポートの整備状況

・地方公共団体庁舎・災害拠点病院等重要な防災拠点においては、緊急輸送ヘリポートが約75%整備。



	集計値（47都道府県）
地方公共団体庁舎、災害拠点病院及び緊急輸送拠点等の施設数	9,403 施設
整備済みのヘリポート数	7,063 箇所
地方公共団体庁舎その他重要な防災拠点におけるヘリポート整備率	75.1 %

平成14年3月現在における整備済みと整備中の施設の合計値

### 【定 義】

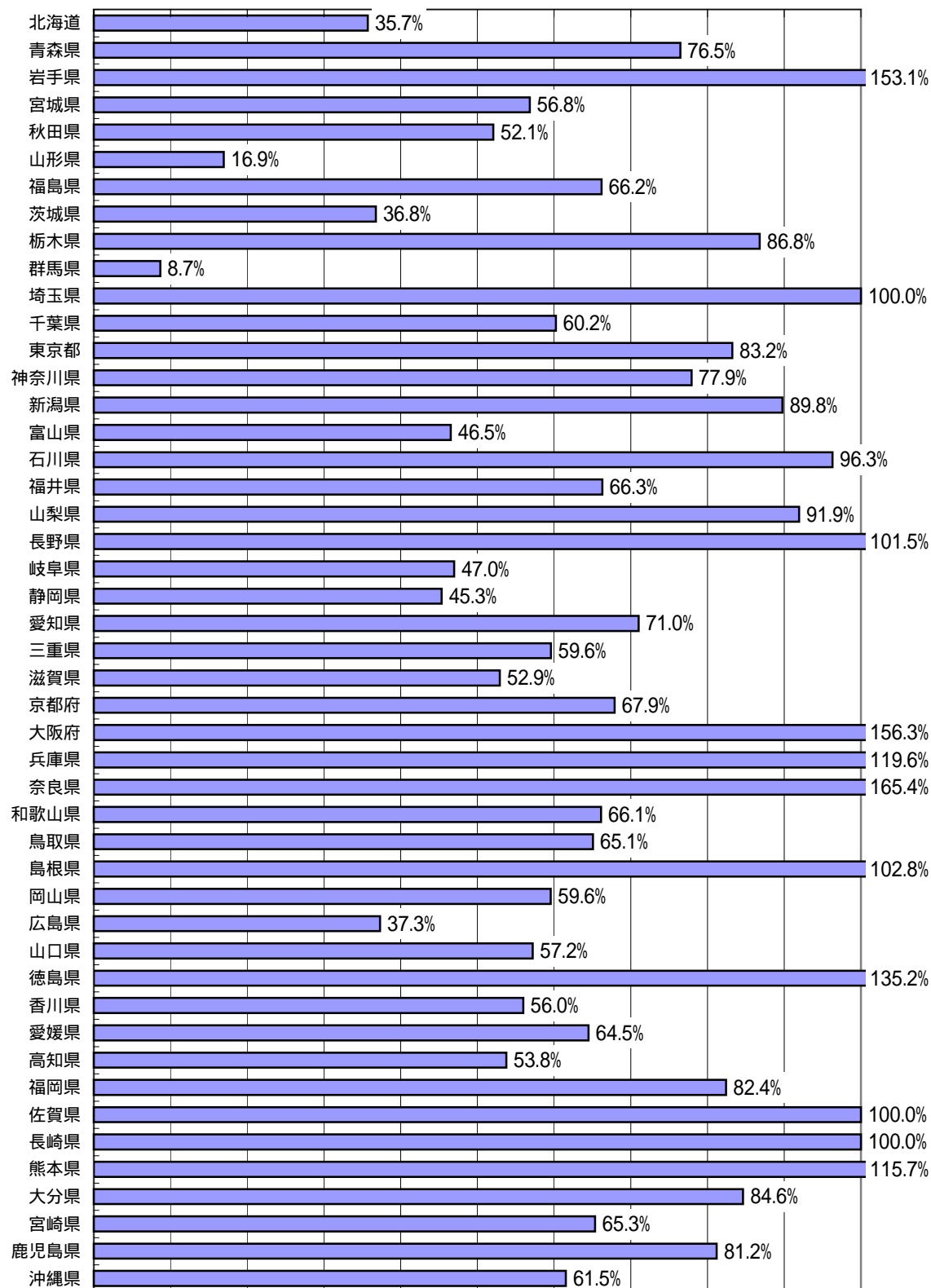
防災拠点におけるヘリポート : 防災拠点におけるヘリポート及び臨時発着場のヘリポートを含む

防災拠点におけるヘリポート整備率 : 地域防災計画に定められた地方公共団体庁舎、災害拠点病院及び緊急輸送拠点等の施設数に対する整備済み及び整備中のヘリポート数

(%)

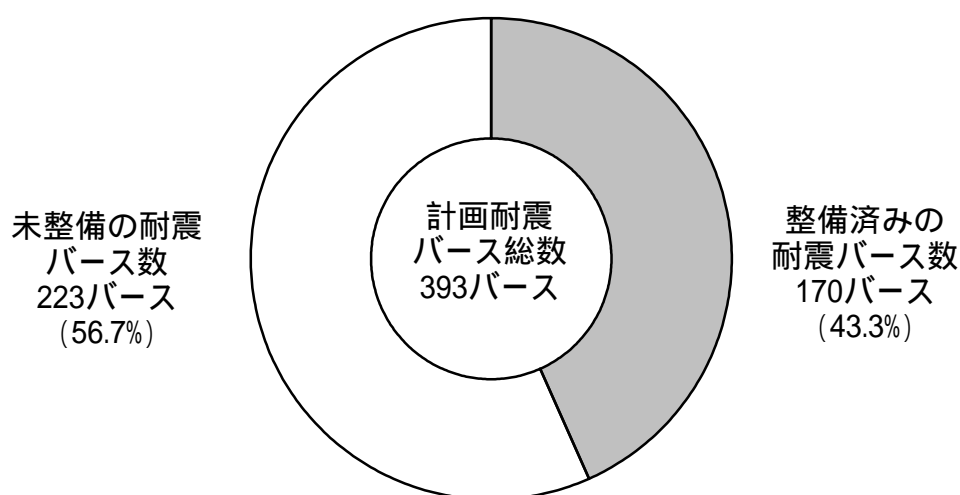
# 都道府県別のヘリポート整備率

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100



## 緊急輸送港湾の耐震バース整備

・緊急輸送活動を行うための重要な港湾においては、「港湾における大規模地震対策施設整備の基本方針(平成8年12月)」により耐震強化岸壁の整備が計画されている。当該計画耐震バース数に対する整備率は約43%。



	集計値（40都道府県）
緊急輸送港湾における計画耐震バース数の総数	393 バース
整備済みの計画耐震バース数	170 バース
緊急輸送港湾耐震バース整備率	43.3 %

平成14年3月現在における整備済みと整備中の施設の合計値  
(集計は港湾を有する40都道府県を対象とする。)

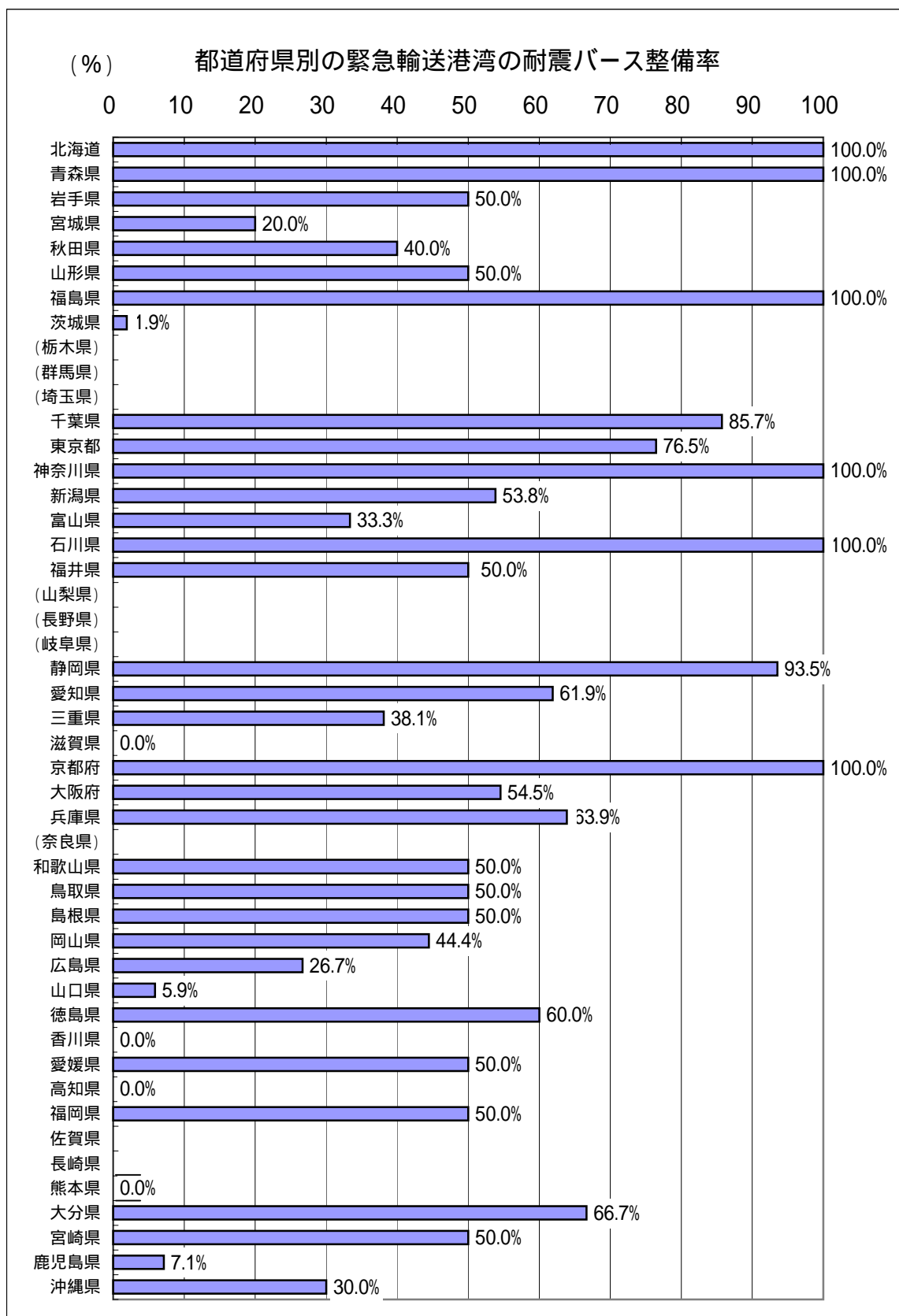
### 【定義】

港湾施設

：特定重要港湾、重要港湾、地方港湾、避難港

緊急輸送港湾の耐震バース整備率

：地域防災計画において緊急輸送活動を行うための重要な港湾に位置づけられている、あるいは位置づける予定の港湾において、「港湾における大規模地震対策施設整備の基本方針(H8年12月)」に基づき計画されている耐震バース数の総数に対する整備済み及び整備中の耐震バース数の割合



(集計は港湾を有する40都道府県を対象とする。)

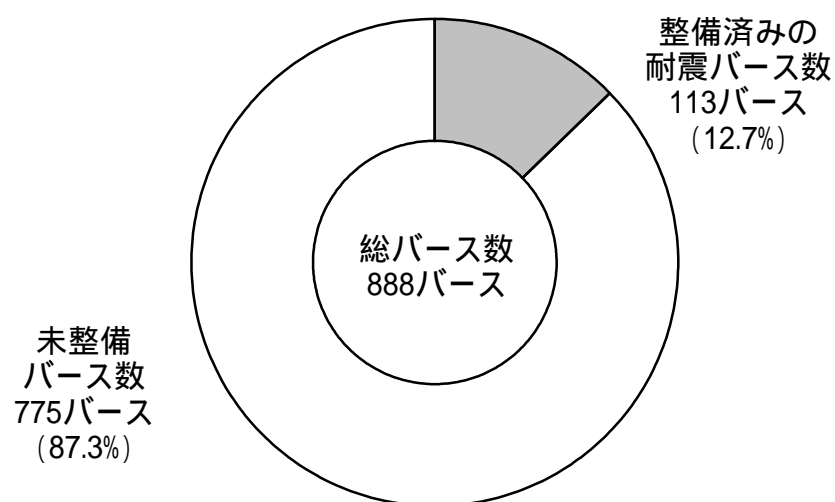
( ) は港湾のない都道府県

- は「港湾における大規模地震対策施設整備の基本方針(平成8年12月)」に基づき計画されている耐震バースのない都道府県



## 緊急輸送漁港の耐震バース整備

・緊急輸送活動を行うための重要な港湾においては、耐震バース整備に関する計画が定められていない。全バース数に対する耐震バース数の整備率は約13%。

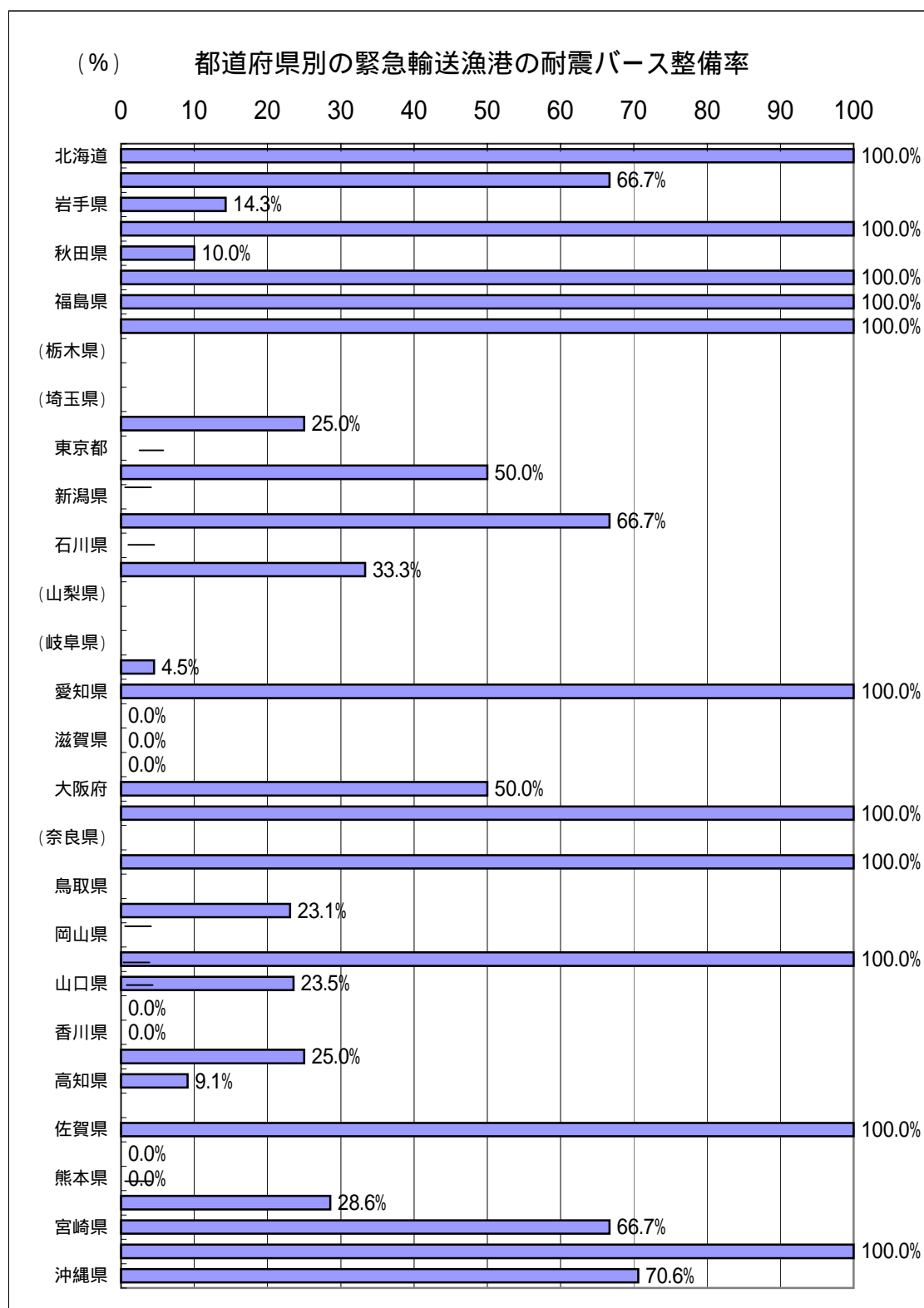


	集計値(40都道府県)
緊急輸送漁港におけるバース数の総数	888 バース
整備済みの耐震バース数	113 バース
緊急輸送漁港の耐震バース整備率	12.7 %

平成14年3月現在における整備済みと整備中の施設の合計値  
(集計は港湾を有する40都道府県を対象とする。)

### 【定義】

漁港施設 : 第1種漁港、第2種漁港、第3種漁港、第4種漁港  
緊急輸送漁港の耐震バース整備率 : 地域防災計画において緊急輸送活動を行うための重要な漁港に位置づけられている、あるいは位置づける予定の漁港(以下緊急輸送漁港とする)に整備されているバース数の総数に対する整備済み及び整備中の耐震バース数の割合



(集計は港湾を有する40都道府県を対象とする。)

( ) は漁港のない都道府県

- は地域防災計画又は地震防災緊急事業五箇年計画において、緊急輸送漁港が位置づけられていない都道府県等